



# 未来を夢見て

2020/7/2 No. 20

## 私はだれでしょう？

7月になりました。校長室前の今月の歌が「学校坂道」に変わりました。

私もこの歌大好きです。何とも残念なのは、小野小学校の子供たちの歌声でこの曲が聴けないこと。小野小学校ではこれまでずっと音楽を大事にしてきた文化があります。ただ、現在は感染症対策を優先させなければならないだけに歌うことは当分我慢しなければならないようです。もし、以前のように学級や学年そして全校で同じ歌を歌える日がきたら、今までにない力をきっと歌がもっているように思います。私は全く音楽の経験はありませんが、前任校で教えていただいたのが「いつでも どこでも だれとでも」という 合い言葉で取り組める合唱の素晴らしさです。いつか小野小学校の子供たちと一緒に合唱に取り組める日を楽しみにしたいと思っています。

それでも休校期間に比べれば、やっぱり子供がいてこそこの学校です。写真上から2番目は4年2組赤坂先生の学級の子供たちが昇降口の掃除をしてくれていたところです。小野小学校では「もくもくそうじ」が徹底していて、本当に一言も話さずに掃除をしている様子に驚きました。

また、写真上から3番目はいよいよ貸出しが始まった図書室の様子。2年1組の齋藤先生の学級の子供たちが一人二冊ずつ松島先生から本を借りているところです。学校内の図書室ですが、ソーシャルディスタンスを守って、行儀よく本を借りている様子に感心しました。また、このように貸出しを始めることができたのも、休校期間から本当に黙々とラベルの貼り替え等に取り組んでいただいた松島先生のおかげです。

さて、今週になって、1年生の子供たちの中にも行動範囲が広がった子供たちがいて、中には元気よく校長室に顔を見せて登場してくれる子もいました。そのまま帰すのはもったいないので、その子の名前を聞いた後に、必ず次の質問をしています。

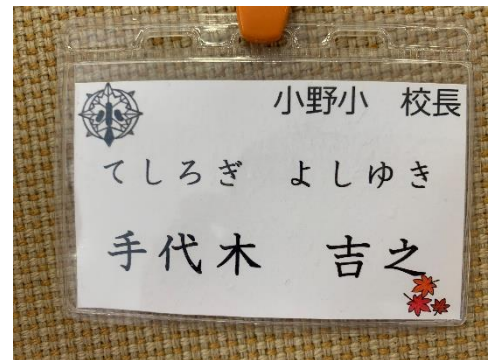
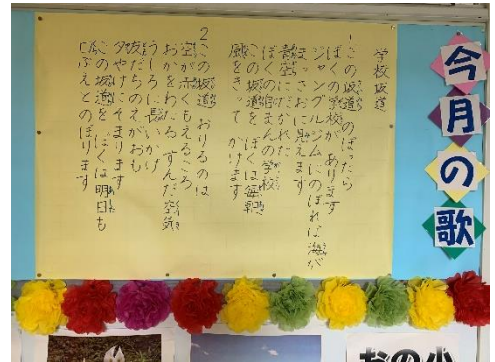
「私はだれでしょう？」

その女の子はじっと私の顔を見た後に、胸の名札に目をやりました。そして、

「よ・し・ゆ・き よしゆき」

と元気に答えてくれました。もちろん間違いではないので、「そうです。よしゆきです。でも 校長先生、と呼んでくださいね」と言うと、(・・・・)という感じでその場を離れていきました。

その女の子、この日はまた校長室に顔を見せてくれました。そこで、「私はだれでしょう？」と同じ質問を繰り返しました。すると「(よと言いかけて)、こ・う・ちょう・せんせい」としっかり答えてくれました。毎日小さなドラマがあって、そんな繰り返しの中で子供たちも私たち教職員も一緒に成長していることを感じた1日となりました。



(文責：手代木)